



芋煮会中止

来年に期待を込めて



東京川西会々長
森田 光雄
(大塚)

今年もうだるような暑さが続き、各地で猛暑日を記録しています。この会報が届くころには、暑さも和らぎトンボが飛ぶなど秋の気配を感じられる頃かと思いますが、新型コロナ禍の中、皆様におかれましては如何お過ごしのことでしょうか。

今年2月以降猛威を振るっている新型コロナですが、今なお収束の兆しがありません。日常生活を始め、政治・経済・社会のすべての分野に於いて、大きな影響を与えています。「外出自粛」など、一人一人が我慢と努力を続けていますが、通常の生活に戻るまでにはまだ当分時間がかかりそうです。経済への影響が大きくなっていきますが、新型コロナへの対応とバランスをとって両立を図るというのが政府の方針です。

外国人の多くは、日本のコロナ対策は欧米等と比べるとうまくいっていると思われているようですが、その理由

は日本人の多くが持っている「規律正しく、規則を守る」という性質だそうです。言われて見れば思い当たる節がある方も多いと思います。

さて、当会の最大行事の一つ「芋煮会」について、中止とさせていただきました。大自然の中での行事で、感染リスクも少しは抑えられるとも考えましたが、どうしても「密」を避けられないとの判断からです。毎年一五〇名を超える参加者があり、家族や職場の恒例行事として定着している方もおいでかと思いますがご理解をお願いします。

「やまない雨はなく、明けぬ夜もない」と言われます。今まで経験したことのない困難を乗り越えた後の社会が、今までとは少し違う、自然に手を差し伸べあうことができるような社会に一步でも前進していることを信じて、いま暫くがまんしようと思うこの頃です。結びに、今回米野顧問より寄稿いただき感謝申し上げます。寄稿大歓迎ですので、遠慮なく事務局に連絡をお願いします。

雨にもコロナにも負けず



川西町長
原田 俊二
(中郡)

会員の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。猛暑が続く日々が過ぎ、秋の訪れを感じられる季節となりましたが、今年の梅雨は例年よりも長く、記録的な大雨により多くの地域に災害をもたらしました。山形県内も、記録的豪雨により最上川中流域が氾濫するなど、大きな被害を受けました。各市町村から避難指示・避難勧告が出され、避難をされた方が多数いらっしゃいましたが、人的被害は最小限で安堵しています。

本町においても吉島・大塚地区で内水の浸水被害、玉庭・東沢地区の山間部で土砂災害などが発生しました。今回の豪雨では新型コロナウィルス感染が心配される中での対応となりましたが、消防団や各地区自主防災会、町職員や各地区交流センター職員は、当日の避難所開設から翌朝にかけて災害対応をしっかりと果たしてくれました。今年はいくつかの感染や自然災害、連日の猛暑等、特別な年となつてしまいましたが、一人ひとりの意識を高め、自己管理を

徹底し、明るい未来を信じて前へ進んでいきましょう。

現在新型コロナウィルス感染症の拡大が続いており、来場者の安全を一番に考慮し、「川西夏まつり」を中止、「地酒と黒べこまつり」は形を変えての実施を決定しました。大勢の方が心待ちにしていたいただいている一大イベントを例年通り開催できないことは、本当に残念です。町内産の牛肉・花卉も消費低迷の大きな影響を受けています。また、町内飲食店・事業者も厳しい状況が長引き経営環境は一段と苦しくなっています。今後とも町民の皆様、事業者の皆さんの声に耳を傾け、国・県と連動し、私たちにできる最大限の支援・対策を行ってまいります。会員の皆様には、町のPRや情報発信など、変わらぬご支援をよろしく願っています。

コロナ禍の中、記念の東京オリンピック・パラリンピックは来年へ延期となりましたが、開園に向けて準備を進めてきた「川西ダリア園」が、8月1日に無事オープンしました。川西ダリア園は、昭和35年9月21日に置賜公園内に日本初の観光ダリア園としてオープン以来、今年開園60周年を迎えました。多くの先人の皆様のご尽力と支えによって60年という長い歴史を刻むことがで

き、改めて、川西ダリヤ園に携わられた全ての皆様に、心から感謝申し上げます。今後もより一層、多くの方々にダリアの魅力を感じていただけるよう、「日本一のダリヤ園」を極めてまいります。

森田会長をはじめ役員・会員の皆様のご奮闘に敬意を申し上げますとともに、皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

川西町の最新情報

▼川西ダリヤ園は開園60周年！

長い間多くの方に愛され親しまれてきた川西町のシンボル「川西ダリヤ園」は、今年で開園60周年を迎えました。今年は、白ダリアの花言葉「感謝」のもと、60年という長い歴史と一緒に歩んできた皆様への感謝の気持ちをこめ、新型コロナウイルス感染症の感染対策をしっかりと行っただうえで様々なイベントを開催します。ダリヤ園開園日の9月21日(月・祝)には、英国で60周年記念日を表す **Diamond Jubilee** (ダイヤモンド・ジュビリー) になみ、「ダリヤモンド・ジュビリー・シンボルデー」とし、60周年のダリヤ園を盛り上げます。

○お問合せ…

川西ダリヤ園 0238 (42) 2112
町まちづくり課 0238 (42) 6668



▼【かわにし森のマルシェ】本町産品の注文承り中！
現在かわにし森のマルシェでは、東京川西会会員の皆様を対象に本町産品の注文を承っています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く例年通り黒ベこまつりの開催ができませんとなってしまったことから、皆様にふるさとの味をお届けしたいという思いで注文を受け始めました。

10月からは新米の注文も開始します！ぜひご自宅でおふるさとの味をご堪能ください。お問合せ・ご注文はかわにし森のマルシェまでお願いいたします。なお、ご注文をされる際はFAXにてご注文ください。

○お問合せ…かわにし森のマルシェ
電話：0238 (42) 6664
FAX：0238 (42) 6665

▼ご存知ですか？「空き家バンク」
「空き家バンク」の役割は、町内にある空き家の利活用を推進するため、空き家情報を必要とする方に提供することです。

具体的には、空き家の賃貸や売却を考えている所有者の方から登録を受け付け、物件の写真や間取り図などの情報を町ホームページに掲載しています。また、物件の内覧の立ち合いや助言など、利用希望者と所有者の間を取り持っています。※ただ

川西町浴浴センター まどか
〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松 5095-36
電話 0238-42-4126 FAX 0238-42-4100
http://www.k-madoka.co.jp/

空き家利活用のご相談は
川西町空き家バンク まで
 町まちづくり課 ☎42-6668

登録物件 50 件のうち
成約 33 件 (令和2年7月末)



し、町は当事者間の交渉・契約内容には介入しません。

空き家バンクを利用して空き家を借りたい・買いたいと希望する利用登録者は延べ77人。年代は20代〜80代と幅広く、うち約6割は町外の方です。これに対し空き家登録件数は延べ50戸。うち33戸が成約しています。

空き家の登録は、居住可能（または小規模修繕で居住可能）なことが前提で、特に状態のいい物件には問合せが集中する傾向にあります。町では各種リフォーム等を支援する制度もありますので、ぜひご活用ください。

○お問合せ：町まちづくり課
 0238 (42) 6668



羽前小松駅長しよこら
 「早く会いたくてよ〜」


▼町 Facebook に「いいね〜」
 川西町では、情報発信の一環として Facebook ページ「山形県川西町」を活用しています。ページに「いいね〜」していただくと、みなさんのお手元へ町のイベント情報や季節の話題などが随時届きます。パソコン、スマートフォンなどでご利用可能です。

○お問合せ：町まちづくり課
 0238 (42) 6668

▼町報かわにしを購読しませんか？
 東京川西会の会員の皆様を対象に、川西町広報誌「町報かわにし」の定期購読を行っています。購読料は無料ですが、郵送料として1,680円をいただいております。町の最新情報やお知らせなど、盛りだくさんの内容となっております。ぜひ購読ください。

○お申込み・お問合せ：
 町まちづくり課 0238 (42) 6668

三十四回目の総会・懇親会中止
 “コロナでコロットマイッタ!”
 はなしにプラスして




東京川西会顧問
米野 宗禎
 (小松)

私たちの故郷は明治十一年夏にご承知の通り英国女性イザベラ・バードが日本奥地旅行を計画、小松町(当時)に一泊、置賜地区の印象を“この地こそアジアのアルカディア”つまり、この世の理想郷と記されました。紀行文は上小松出身高梨健吉慶応大学名誉教授が翻訳・出版されており、昭和六二年「東京川西会」創立にあたり、高梨先生には顧問になっていただき、会の旗印として「アルカディアの里」と決め、去る二月十五日椿山荘に三〇〇名に及ぶ参会者のもとに発足。会報創刊一号に会長黒澤悟郎あいさつ文には入会者五〇〇名と記される盛会さでした。

顧問に井上ひさし(作家)、高橋正二(明治薬科大学理事長)が就任され、総会などでご講演を無料でお願いもし故郷を語っていただいたことも懐かしい想いです。

さて当時、老生は会発足二年ほど



おいしい自然いちはやく、
 四季ある幸せ、JA山形おきたま。

山形おきたま農業協同組合

川西支店 / 〒999-0121 川西町大字上小松1735-1
 TEL 0238-42-3125 (代) FAX 0238-46-3128

川西経済 / 〒999-0121 川西町大字上小松1034
 支店 TEL 0238-42-2150 (代) FAX 0238-46-2354

米沢牛
 テラウエア
 山形おきたま米

前から「ウラを見せおもてをみせてちるもみぢ」良寛和尚辞世の句ではありませんが、ウラもオモテも小使役をさせていただき、今年は三十四年目の総会との事。人生そろそろ「散る紅葉」と思いつつ、出席しようとするを励ましておりました矢先新型コロナウイルスによりアルカディアの里は勿論、世界人類の生命の危機となり総会は中止、マッテ、待つていたのに！

お釈迦様は「形あるものいずれば壊れる」と云われておりますが「地球」が無くなっても「東京川西会」は存在する。「継続は力なり」ですネ。そこで、無力な老生にとつて「緊急事態宣言」に従い、三密（密閉・密集・密接）を回避し巣ごもりをしました。すでに傘寿（80歳）を過ぎていますから十年前から巣ごもりは馴れておりましたが、夜の密集ができず、アルチュウハイマにとつては寂しい日々でした。

そこで救ってくれる暇潰しに古稀（70歳）になって始めた詩を吟ずる趣味がありました。当然コロナ禍で稽古・発表会などは四カ月間中止。独り住まいで静かに詩を嗜むことにしました。吟友との学びごっこがない淋しい日々です。

吟の道にご縁をいただくと、古今の作者が創られた漢詩、短歌、俳句、

新体詩、そして、山形県民の歌「最上川」など山や川「アルカディアの里」の風景に新めて感動する豊かな言葉が表現されております。自分の心と対話をすることでコロナ禍の感染から、そして、今世界中が米中は固より経済（カネ）と権力の戦争(?)から離陸して、アルカディアの里を想い夜空の星を見上げることで人生に勇氣と誇りをいただき東京川西会員の集いも心豊かになるのではと勝手な講釈を語らせてもらいました。無調法ナ！ソウそう複式呼吸によつて体にも良い趣味だと先輩吟友たちは口にします。コロナから晴れての総会・懇親会の案内を待ち致します。

そこで厚かましいのですが、人生百まで、吟道へのおさそいです。ご希望が多かったら川西会の教室を創りましょう。

「日本奥地紀行」
イザベラバード著・高梨健吉訳
平凡社ライブラリー発行（文庫本）
一、五〇〇円発売中

国分寺「詩吟教室」へのおさそい

公益社団法人
「日本吟道学院」国分寺教室
・中央線西国分寺駅下車歩三分

・会員十五名（男女）月二回
午後二時～四時
・月謝会場費共三千元
テキスト代実費
入会ご希望の方 米野宗禎あて！
電話 080-10865688
FAX 042-4637453

東京川西会の現況



東京川西会事務局長

佐藤 誠
(犬川)

今年2月初旬に上陸した新型コロナウイルスの感染は、半年が過ぎても収束のきざしがなく拡大している此の頃です。その中で、東京川西会の諸行事も、感染拡大防止上の必要から中止の処置を取りました。

ここに年間予定表を元に中止した行事を記し、半年間を振り返ってみます。まず3月14日に、令和元年度最後の会議として予定した第5回役員会（令和元年度事業の反省、令和2年度事業計画の打合せ）、令和2年度最初の行事としての4月5日埼玉県のお花見会（昨年は川口グリーンセンターに18名参加）、更に役員会として第1回を4月11日、第2回を5月9日、第3回を6月13日、正副会長会議を7月11日に予

定しましたが、中止のやむなきに至りました。

また、第34回定例総会を5月17日に四ツ谷駅前の主婦会館にて計画しました（昨年は同会場で川西町から大勢の方々に参加して頂き70人の参加で盛大に実施）提案内容は会報第83号に掲載し提案とさせていただきますました。次いで神奈川県伊豆地区伊豆温泉泊の計画（昨年は伊豆伊豆温泉泊で17名の参加）としていました。

8月11日に川西夏まつり参加（昨年10名参加泊）、更に黒べこまつりツアーが9月4日泊、（昨年は39名参加）等が中止となりました。

信頼を基に地域を開発する



〒999-0121
山形県東置賜郡川西町大字上小松1736-2
電話 (0238)46-2020 Fax (0238)46-2022
E-mail:kawanisi@shokokai-yamagata.or.jp

今後の予定は、コロナウイルスの感染状況によると思います。

次に東京川西会の会員の人数について記します。平成29年9月発行の会員名簿には181名となっておりますが、令和2年7月末日現在で、新規加入者が13名、退会者が30名で差し引き17名の減となっております。退会の理由は他界された方、体調不良、高齢による自己都合等です。

今後とも川西会が元気に活動していくには会員の増員が大切な要因と思います。知人、友人に会員加入のお誘いをお願い致します。

第五十五回研修会

中止のお知らせ

恒例の年末行事である研修会と忘年会につきましても、昨年まで使用していた会場が当分の間閉鎖されている事、代替会場の確保が難しいことなど先が見通せない現状を踏まえ、中止とさせていただきますので、ご理解をお願い致します。

倉持経子様のご逝去について

当会の理事を永年勤められている倉持経子氏が、令和2年8月10日に84歳で逝去されました。衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

事務局日より 新会員のご紹介

今回は新会員はありませんでした。

庶務日誌抄

四月十五日 会報第八十三号発行

以下の事柄は、コロナウイルス感染拡大防止の上から中止としました。

五月 九日 第一回役員会

五月一七日 第三十四回定期総会

六月一三日 第二回役員会

六月十四日 神奈川地区行事(伊香保温泉)

温泉

七月十一日 第一回正副会長会議

八月十一日 かわにし夏まつり 参加

九月 四日 黒べこまつりツアー

九月 五日 黒べこまつり

九月十三日 第三回役員会

編集後記

幸い、今のところ故郷川西町に新型コロナウイルス感染者は確認されておりません。望郷の思いに胸を焦がしながらお盆の時期を耐えていただいた会員の皆様の御協力によるところ大であり、深く感謝申し上げます。関東の新規感染者が大幅に減少するまで、いましばらくの御協力をどうか宜しくお願い致します。

戦後75年の節目を迎え、テレビでは様々な特集番組が放映されましたが、知らなかったことも沢山ありました。

日本も原爆開発を進めていたこと、朝鮮戦争に70人の日本人が米軍として従軍し戦死者までいたこと、ソ連が極秘に回収したヒトラーの骨の一部は本物であったこと、戦前からフリーピンで暮らす多くの日本人が本土決戦の防波堤となり、軍民合わせ43万人もの方々が逃避行の山中で犠牲になったことなどです。

最近、「日本人の忘れもの」というドキュメンタリー映画を見てきました。フリーピンでなんとか生き残り、国籍がないままに取り残されている千人を超える日系二世の惨状と、旧満州国から引き上げられず、やむなく養父母に預けられた中国残留孤児に対する近年の支援を対比したものでした。

諸先輩の中にも、悲惨な記憶を持つ方がおられると思います。それらを可能な限り知ることが、戦後世代の責任ではないかと思うのです。

東京川西会会報 No.八十四号

発行「アルカディアの里」東京川西会

発行責任者 会長 森 田 光 雄

編集人 広報委員長 鈴木 茂

連絡先 事務局 佐藤 誠

TEL: 240-0015

横浜市保土ヶ谷区岩崎町十八四八

TEL・FAX 045-333-8368

農家発!! 愛情たっぷり

杵つきもち

(有)大塚もち加工センター

TEL:0238-42-5159 FAX:0238-42-5336

〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚1267-7

地元直産

新庁舎建設賛助協力金の御礼

皆様にご協力をお願い申し上げました新庁舎建設賛助協力金に、8月末現在66名の皆様から暖かいご支援を頂戴し心より厚く御礼申し上げます。

茲にご芳名を掲載させていただき謝意を表します。賜りました協力金は、何か記念となるものを、今後町と協議しながら進めてまいります。

島貫 勇助 様	町田市 (吉島)	嶋貫 昭雄 様	幸手市 (小松)	佐藤 清 様	板橋区 (犬川)	佐々木政夫 様	横浜市 (中郡)	紺野 耕 様	青梅市 (小松)	神野 民夫 様	小平市 (玉庭)	伊藤 健利 様	横浜市 (玉庭)	五十嵐三喜子 様	日野市 (犬川)	金拾萬円也	奥村 健二 様	横浜市 (犬川)	金参萬円也	竹田 次夫 様	横浜市 (小松)	金拾萬円也		
梅津 清儀 様	鎌ヶ谷市 (犬川)	金五千円也	名取 清雄 様	川崎市 (中郡)	斉藤 祥子 様	上尾市 (小松)	小池比呂司 様	中野区 (玉庭)	菊地 勝司 様	大田区 (玉庭)	河原井 敬子 様	品川区 (小松)	金八千円也	米山 誠子 様	中央区 (小松)	米野 宗禎 様	西東京市 (小松)	森田 光雄 様	八王子市 (大塚)	樋渡三保子 様	鎌倉市 (南陽)	中村 茂八 様	柏市 (犬川)	
大森 啓子 様	横浜市 (犬川)	金三千円也	村田 忠一 様	いすみ市 (小松)	金四千円也	横野 久和 様	綾瀬市 (玉庭)	高橋 良暢 様	須貝 利喜夫 様	越谷市 (犬川)	白戸 寂子 様	練馬区 (小松)	佐藤 誠 様	横浜市 (犬川)	笹木 俊雄 様	綾瀬市 (吉島)	齋藤 敬二 様	柏市 (中郡)	小泉 珠子 様	世田谷区 (玉庭)	遠藤 房雄 様	川口市 (犬川)		
原田 史歩 様	川崎市 (中郡)	世田谷区 (大塚)	瀧澤 浩 様	世田谷区 (小松)	高橋 雅彦 様	入間市 (犬川)	高橋 清幸 様	墨田区 (玉庭)	高梨 貞夫 様	八千代市 (小松)	鈴木 信一 様	横浜市 (玉庭)	鈴木 茂 様	上尾市 (玉庭)	斉藤 雄大 様	新宿区 (犬川)	齋藤 正 様	台東区 (米沢)	倉持 経子 様	越谷市 (犬川)	奥村 洋二 様	東村山市 (犬川)	大木 安雄 様	国分寺市 (玉庭)
宇野井ひろこ 様	横須賀市 (大塚)	石山 貞二 様	草加市 (中郡)	金一千円也	高橋 宮雄 様	船橋市 (吉島)	高橋 榮四郎 様	桶川市 (犬川)	井上 修 様	横浜市 (小松)	伊藤 春作 様	小平市 (玉庭)	有野 三男 様	桶川市 (大塚)	金二千円也	渡部 俊明 様	相模原市 (吉島)	横溝 征隆 様	横浜市 (小松)	星野亜輝子 様	板橋区 (大塚)	平間千代子 様	横浜市 (中郡)	
					渡辺 則子 様	海老名市 (大塚)	渡辺宇多代 様	さいたま市 (小松)	山田 敏雄 様	横浜市 (小松)	船山喜久男 様	足立区 (小松)	須藤 勝味 様	柏市 (大塚)	鈴木真佐子 様	墨田区 (小松)	小関 清二 様	川崎くによ 様	武蔵村山市 (中郡)	金子 典雄 様	足立区 (小松)	遠藤 富雄 様	入間市 (小松)	